

学校教育目標 『一人一人が輝き、かかわり合いながらともに成長する児童の育成』



校訓 「正直 勤勉 愛語 進取」

笠野だより

笠野小学校だより 第10号

令和4年1月11日

Tel 288-8651 Fax288-8652

e-mail

kasano-es@m2.spacelan.ne.jp

まとめの3学期

校長 香林 直晴

昨年も新型コロナウイルスの影響で例年とは違う1年となりましたが、本校の教育活動に皆様の温かいお力添えをいただき、誠にありがとうございました。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

子どもたちは、13日間の冬休みを事故なく過ごし、全員元気に3学期初日を迎えることができました。静かだった校舎に子どもたちの姿と声に戻り、いつもの賑やかな学校生活が始まったことをたいへん嬉しく思います。始業式では、一人ひとりの引き締まった表情から、「今年も頑張るぞ。」という意気込みが伝わってきました。年があらたまれば心もあらたまります。新しい年を迎え、自分自身の行動や考えを見直すよい機会にしたいと思えます。

さて、3学期は一年のまとめの時期です。現学年で身につけるべき学力をしっかりと身につけ、次の学年へと進級しなければなりません。4月になって今まで学んだことがリセットされ、また最初からということのないよう、学びを定着させる必要があります。

また学力以外にも、その学年にふさわしいリーダーシップや思いやりといった心や態度、行動があります。そうした人としての力（人間力）も身につけなければなりません。そう思うと、今一度気を引き締め直し、職員が一丸となって目の前の子どもたちに向き合っていかなければ、と思っています。

早いもので、6年生は3月17日（木）の卒業式、1～5年生は3月24日（木）の修了式まで、あと2か月余りとなりました。それぞれの目標に向かい、一日一日を大切に、友達と仲良く、楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。ご家庭におかれましても、様々な機会を捉え、励ましの言葉をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きません。これまで同様、朝の健康観察、検温、マスク着用等にご協力いただきたいと思います。

1月の生活目標 「気持ちのよいあいさつをしよう」

後期の児童アンケートでは、「気持ちのよいあいさつをしていますか」の問いに対して、肯定的評価をした児童は83%（前期は100%）で前期評価より下がりました。そこで、今月は「相手が気持ちよくなる挨拶について考え、進んで実践する」ことを指導の重点とし、家族や友達にどんなあいさつをすることを頑張るのか、各自目標を立てて取り組みます。元気のよいあいさつは笠野っ子のよいところの一つだと思います。保護者の皆様にもご協力をよろしくお願いいたします。



校内書き初め大会

7日（金）に、校内書き初め大会を実施しました。子どもたちはとても集中し、丁寧に書き上げていました。校内の書き初め展で、1月11日（火）から13日（木）まで展示します。時間は15:30～17:00（13日は8:30～12:00）をお願いします。入選者は次のとおりです。

1年 I. T、F. R

2年 M. S

3年 Y. R

4年 I. K、H. Y

5年 M. N

6年 M. A

今年度も公民館での展示は行いません。また、公民館主催の左義長が1月14日（金）13:00から、行われます。



読書をする子は〇〇がすごい！

榎本博明著 日経プレミアシリーズ

先日、本屋に行った際、このタイトルに惹かれ、衝動買いして読んでみました。

読書をするるとよいというのは、以前から言われてきたことですが、具体的にどのような効用があるのか、またその原因、理由は？という思いで読んでみました。少しだけその内容を紹介したいと思います。

『読書には、語彙力や読解力を発達させ、思考力や想像力を高めさせるという効用があるばかりでなく、根気強さを培うという効用もある。本を読む際には、思考力や想像力を駆使しながら文章から具体的場面を想像力によって立ち上げたり、作者の言いたいことを論理的にたどるなど、かなりの知的努力を必要とする。それを継続するのは根気を要する。また、読書には、さまざまな立場や性格の登場人物に触れたり、これまで出会ったことのない価値観をもつ作者に触れたりすることで、いろいろな人間の思いを想像することができるようになり、共感性が高まるといった効用もある。読書を通して多様な他者を理解できるようになる。』また、『子どもの頃の読書活動が多いほど、社会性が高く、意欲・関心が高く、論理的思考能力が高い、といった傾向を示すデータが得られている。社会性に関しては、子どもの頃の読書活動が多いほど、「けんかの仲裁ができる」「友達に相談されることがよくある」といった人間関係能力が高いことが示された。意欲・関心については、子どもの頃の読書活動が多いほど、「何でも最後までやり遂げたい」「わからないことはそのままにしないで調べたい」「経験したことのないことには、何でもチャレンジしてみたい」というように意欲や関心を強く持っていることが示された。論理的思考能力については、子どもの頃の読書活動が多いほど、「複雑な問題について順序立てて考えるのが得意である」「考えをまとめることが得意である」「物事を正確に考えることに自信がある」というように論理的思考能力に自信を持っていることが示された。』とある。本校の児童は、児童アンケートの結果によると、「家庭で読書（親子読書・週末読書）をしていますか」の問いに対して、肯定的評価をした児童が、前期93%、後期97%、と大変良好な結果でした。（保護者アンケートでは、肯定的評価が、前期76%、後期76%、でした。）図書館司書の先生に尋ねても、「笠野小の子どもたちは、本当によく本を読む」と答えてくれます。その読書の効果もあって、笠野小の児童の学力は高いレベルにあると思います。

本校では、今後も読書の取組を継続していきたいと考えております。ご家庭でのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。